



自動回転式シート

KEIKYU BUSINESS REPORT

第100期

2020年4月1日～2021年3月31日

京浜急行電鉄株式会社 証券コード 9006

CONTENTS

02. トップメッセージ 04. 連結決算ハイライト 05. セグメント情報
06. 株主優待制度のご案内 07. トピック



新造車両外観 (2021年5月運行開始)

トップメッセージ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第100期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の事業の概況をまとめ、「KEIKYU BUSINESS REPORT」としてお届けいたします。

いまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、当社グループでは、ライフラインを担う企業集団としての責任を全うすべく、安全・安心の確保を最優先に、感染防止策を講じてまいります。また、急激な事業環境の変化への対応を進めるとともに、品川駅周辺開発事業の推進等によって持続的な発展を実現するために、2021年度から新総合経営計画をスタートいたしました。グループ一丸となって「日本全国、そして世界とつながり、日本発展の原動力である品川・羽田・横浜を成長トライアングルゾーンと位置付け、国内外の多くの人々の生活と交流を支え、持続的に発展する豊かな沿線を実現する」という長期ビジョンの実現に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましても、引き続き当社グループへのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



京浜急行電鉄株式会社
取締役社長

原田一之

▶ 第100期連結決算の概要

当期の営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、2,349億6千4百万円(前期比24.9%減)、営業損失は184億2千万円(前期は営業利益294億8千9百万円)、経常損失は201億5千6百万円(前期は経常利益268億3千4百万円)となりました。これに、特別損失として「SHINAGAWA GOOS」の閉館に伴う減損損失を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純損失は272億1千1百万円(前期は親会社株

主に帰属する当期純利益156億5千万円)となりました。

当期の中間配当につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で純損失を計上したため、誠に遺憾ながら無配とさせていただきました。期末配当につきましては、純損失を計上する厳しい結果となりましたが、財務状況を勘案しつつ、株主の皆様への配当を継続するため、1株あたり5円といたしました。

▶ 来期の業績予想

来期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が2023年3月まで継続すると仮定し、算定しております。

営業収益は、2,750億円となる見込みです。(収益認識に関する会計基準の変更による収益減(190億円)を含む)

利益面では、交通事業が、輸送人員の増加および

コスト削減の施策の実施により、損失縮小となるほか、不動産事業が、分譲マンションの安定供給および大型オフィスビル等の売却により増益となることなどから、営業利益は34億円、親会社株主に帰属する当期純利益は92億円を見込んでおります。

また、来期の年間配当金につきましては、1株あたり10円(中間配当金5円、期末配当金5円)を予定しております。

親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失の推移



▶ 連結決算ハイライト 第100期 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

| | 前期末 | 当期末 |
|-------|---------|---------|
| 資産合計 | 888,412 | 929,053 |
| 負債合計 | 620,756 | 680,002 |
| 純資産合計 | 267,655 | 249,051 |

●資産の部

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、流動性資金確保のための借入等に伴う現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ406億4千1百万円増加しました。

●負債の部

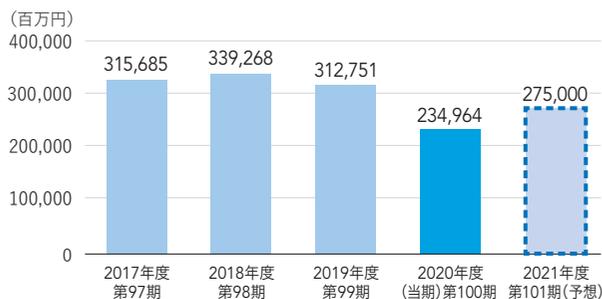
支払手形及び買掛金の減少はありましたが、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末と比べ592億4千5百万円増加しました。

●純資産の部

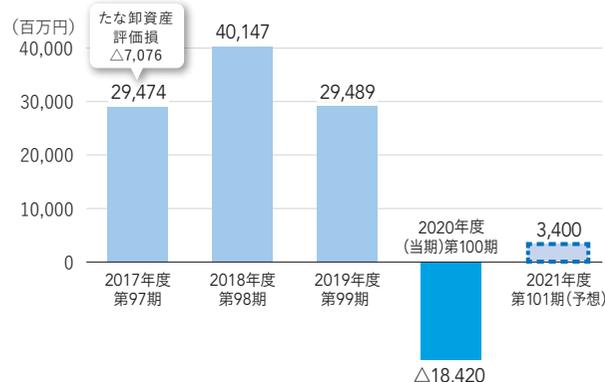
親会社株主に帰属する当期純損失の計上などにより、前連結会計年度末と比べ18億3百万円減少しました。

業績等の推移

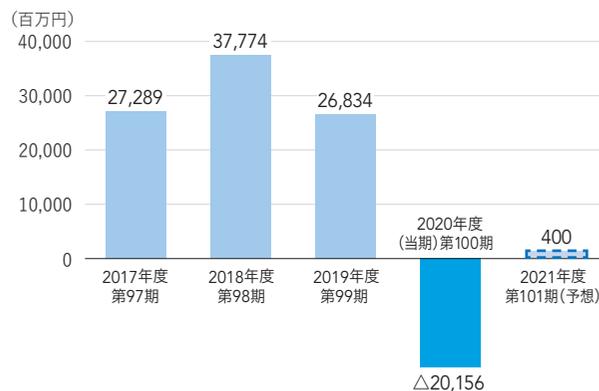
営業収益



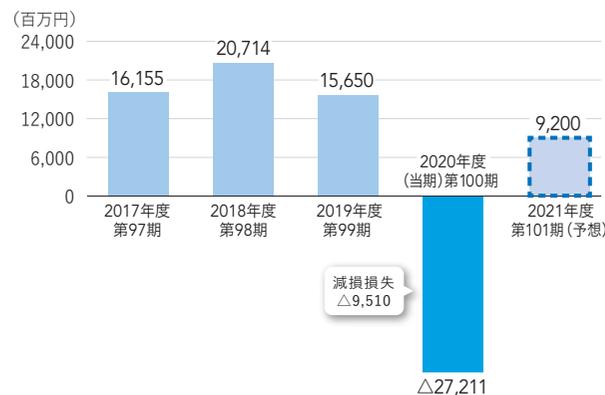
営業利益又は営業損失(△)



経常利益又は経常損失(△)



親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△)



セグメント情報

交通事業



営業収益

785億円

(前期比 35.1%減)

営業利益又は営業損失(△)

△214億円

(前期は営業利益128億円)

- 鉄道事業では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安定輸送の維持に努めました。また、朝ラッシュピーク時間帯後の一部列車を8両編成から12両編成に変更するなど、混雑緩和およびオフピーク乗車の促進に努めました。さらに、引き続き安全対策を最重要課題とし、平和島駅、京急川崎駅および京急鶴見駅にホームドアを設置しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、輸送人員は前期比で30.5%減となり、羽田空港2駅の輸送人員は、前期比で57.3%減となりました。
- バス事業では、京浜急行バス(株)および川崎鶴見臨港バス(株)は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、サービスの提供の維持に努めました。また、輸送の効率化およびコスト削減等の施策とあわせて、運転士の採用を強化し、安定的な輸送力の確保に努めました。

流通事業



営業収益

875億円

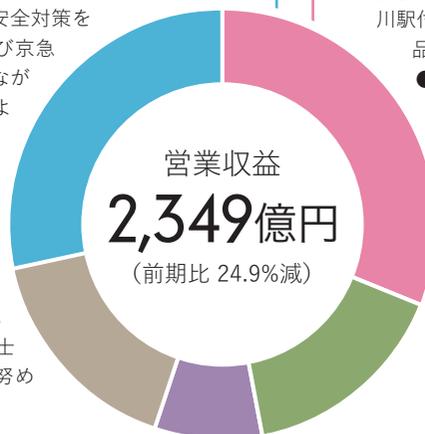
(前期比 13.6%減)

営業利益

2億円

(前期比 89.4%減)

- (株)京急ストアは、コロナ禍における内食・巣ごもり需要を積極的に取り込みました。また、「京急ストア高輪店」および「京急ストア八丁畷店」などを開業しました。しかしながら、品川駅付近の連続立体交差事業の進捗に伴う「京急ストア品川店」の閉店の影響などにより、減収となりました。
- (株)京急百貨店は、緊急事態宣言の発出に伴う休業等がありましたが、コロナ禍における非対面・非接触ニーズを取り込むため、オンラインショッピングの取扱い商品を拡充するなど、顧客の獲得および販路の拡大に努めました。



その他



営業収益

461億円

(前期比 20.6%減)

営業利益

20億円

(前期比 44.0%減)

- 京急建設(株)および京急電機(株)は、ホームドアをはじめとした鉄道の安全対策工事等を行いました。

レジャー・サービス事業



営業収益

226億円

(前期比 41.9%減)

営業利益又は営業損失(△)

△32億円

(前期は営業利益58億円)

- ビジネスホテル業では、京急E Xホテル・京急E Xインは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、一部の館において休館や営業規模の縮小などを行ったほか、コストの削減を進めました。また、品川駅周辺開発の進捗に伴い、「京急E Xホテル 品川」の営業を終了しました。
- 三浦半島地域の観光事業者や自治体、サポート企業などと連携し、観光型MaaS「三浦Cocoon」を開始しました。

不動産事業



営業収益

444億円

(前期比 11.7%減)

営業利益

45億円

(前期比 25.0%減)

- 不動産販売業では、京急不動産(株)は、分譲マンション「プライム葉山」を売却しました。
- 不動産賃貸業では、コロナ禍においても、都心および横浜駅周辺エリア等において賃貸オフィスビルが順調に稼働しました。
- 品川駅西口地区の開発において、品川のポテンシャルを最大限活用すべく、トヨタ自動車(株)と共同で複合施設の開発を推進することについて合意しました。
- 当社は、不動産流動化事業へ参入することとし、本年4月に「京急第2ビル」等を信託設定したうえで、信託受益権を譲渡しました。

株主優待制度のご案内

●京急グループ施設株主優待割引券のほか、株式数に応じて

電車・バス全線きっぷやホテル宿泊券等が選択できる株主優待制度を設けています。

| ご所有株式数 | 基準日 | 電車・バス 全線きっぷ | 京急EXホテル・ 京急EXイン 無料宿泊券(シングル) | 電車全線バス | バス全線バス |
|----------------------|-----|----------------|-----------------------------------|--------|--------|
| 100株以上 200株未満 | 9月末 | - | - | - | - |
| | 3月末 | 2枚(注) | - | - | - |
| 200株以上 500株未満 | 9月末 | 2枚 | - | - | - |
| | 3月末 | 2枚 | - | - | - |
| 500株以上 1,500株未満 | 9月末 | 4枚 | - | - | - |
| | 3月末 | 4枚 | - | - | - |
| 1,500株以上 2,500株未満 | 9月末 | 8枚 | - | - | - |
| | 3月末 | 8枚 | - | - | - |

(注)毎年3月31日の基準日時時点の株主様に限り年1回発行(毎年5月中旬に発送)

いずれか1つ選択

| | | | | | |
|------------------------|-----|-----|----|---|---|
| 2,500株以上 5,000株未満 | 9月末 | 15枚 | 1枚 | - | - |
| | 3月末 | 15枚 | 1枚 | - | - |
| 5,000株以上 10,000株未満 | 9月末 | 30枚 | 2枚 | - | - |
| | 3月末 | 30枚 | 2枚 | - | - |
| 10,000株以上 15,000株未満 | 9月末 | 60枚 | 4枚 | - | - |
| | 3月末 | 60枚 | 4枚 | - | - |

いずれか1つ選択

| | | | | | |
|------------------------|-----|------|----|----------------|----|
| 15,000株以上 22,500株未満 | 9月末 | 90枚 | 6枚 | 1枚 | - |
| | 3月末 | 90枚 | 6枚 | 1枚 | - |
| 22,500株以上 30,000株未満 | 9月末 | 135枚 | 6枚 | 1枚 | 1枚 |
| | 3月末 | 135枚 | 6枚 | 1枚 | 1枚 |
| 30,000株以上 | 9月末 | 180枚 | 6枚 | 電車・バス共通全線バス 1枚 | |
| | 3月末 | 180枚 | 6枚 | 電車・バス共通全線バス 1枚 | |

※電車・バス全線きっぷは、当社電車全線および当社グループ(京浜急行バス、川崎鶴見臨港バス)の一般路線バス全線にご乗車いただけます。
(空港リムジンバスは、横浜駅(YCAT)～羽田空港線のみご利用になれます。)

※株主優待の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

京急グループ施設株主優待割引券(年2回) 100株以上ご所有のすべての株主様

京急EXホテル・京急EXイン

| | |
|---------------------|-------|
| 100株以上500株未満 | 半期に2枚 |
| 500株以上 | 半期に4枚 |
| スタンダードプランから1,000円割引 | |

京急ストア・もともちユニオン

| | |
|------------------------------------|--------|
| 100株以上500株未満 | 半期に20枚 |
| 500株以上 | 半期に40枚 |
| 50円割引 (1,000円以上(税込)のお買い上げごとに1枚) | |

セブン-イレブン
京急ST羽田空港第1ターミナル店 京急ST羽田空港第2ターミナル店
京急ST羽田空港第3ターミナル店 京急ST三崎口店

| | |
|----------------------|-------|
| 100株以上500株未満 | 半期に1枚 |
| 500株以上 | 半期に2枚 |
| コーヒー(ラージサイズ) 1杯無料 | |

さらに3年以上継続の場合

| 電車・バス全線きっぷ | 電車・バス全線きっぷ |
|------------|------------|
| 15枚 | 15枚 |

単元未満株式の買取・買増制度、特別口座に関するお問い合わせは

株主名簿管理人・特別口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

〈営業時間〉平日 9:00～17:00  **0120-782-031**

当社株主優待等に関するお問い合わせは

京急ご案内センター

〈営業時間〉※営業時間は変更となる場合がございます。
平日 9:00～19:00
土・日・祝日 9:00～17:00
ハロー・ハロー



京急ご案内センター

03-5789-8686 または **045-225-9696**

TOPIC 新総合経営計画をスタートいたしました

当社グループは、2021年度から2023年度を中期経営計画期間とする「京急グループ総合経営計画」をスタートいたしました。グループ一丸となって、長期ビジョンの実現に向けて邁進してまいります。新総合経営計画につきましては、2021年5月13日に開催いたしました「決算および京急グループ総合経営計画説明会」の動画にて詳しくご説明しておりますので、ぜひ当社ウェブサイトからご覧ください。

【決算・京急グループ総合経営計画説明会】



京急電鉄 決算説明会

検索

【新総合経営計画の概要】

グループ理念(抜粋) 京急グループは、都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献する

I. 長期ビジョン(京急グループが2035年度に目指すべき将来像)

日本全国、そして世界とつながり、日本発展の原動力である品川・羽田・横浜を成長トライアングルゾーンと位置付け、国内外の多くの人々の生活と交流を支え、持続的に発展する豊かな沿線を実現する

II. 長期経営戦略(2035年度に向けた長期ビジョン実現のための方向性・方法)

エリア戦略

品川、羽田、横浜の「成長トライアングルゾーン」の発展を支え、そのポテンシャルを推進力として沿線を活性化する

事業戦略

人口減少や生活様式の多様化をはじめとした事業環境の変化に対応するための経営基盤強化、事業ポートフォリオ変革に取り組む

コーポレートサステナブル戦略

地域社会および京急グループの持続的発展に向け、ESGへの取り組みを経営のベースと位置付ける

III. 中期経営計画(2021~2023年度)

新型コロナウイルス感染症の影響による急激な事業環境の変化への対応

① 京急グループの持続的発展に向けた事業構造変革による経営基盤強化

② 不動産事業強化をはじめとした選択と集中による事業ポートフォリオ変革

③ 長期経営戦略につながる取り組み

会社情報

2021年3月31日現在

● 商号 京浜急行電鉄株式会社 (証券コード 9006)

● 本社所在地 〒220-8625 横浜市西区高島1丁目2番8号

● グループ会社 47社(当社を含む)

● 設立 1898年2月25日(前身の大師電気鉄道の設立)

1948年6月1日(京浜急行電鉄の設立)

● 従業員数 9,055名(うち当社2,859名)

第100期定時株主総会決議ご通知

| | |
|------|---|
| 報告事項 | <p>1. 第100期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件</p> <p>2. 第100期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)計算書類の内容報告の件 上記1、2の内容を報告しました。</p> |
| 決議事項 | <p>第1号議案 剰余金の配当の件 本件は、原案どおり承認可決されました。当期の期末配当金につきましては、当社普通株式1株につき金5円となりました。</p> <p>第2号議案 取締役9名選任の件 本件は、原案どおり承認可決されました。</p> |

以 上

役員 (2021年6月29日現在)

| | | | | | |
|-----|------------------|--------|------|--------|-------|
| 取締役 | 取締役社長 (代表取締役) | 原田 一之 | 執行役員 | 社長執行役員 | 原田 一之 |
| | 取締役 (代表取締役) | 道平 隆 | | 専務執行役員 | 道平 隆 |
| | 取締役 (代表取締役) | 本多 利明 | | 専務執行役員 | 本多 利明 |
| | 取締役 | 浦辺 和夫 | | 常務執行役員 | 浦辺 和夫 |
| | 取締役 | 川俣 幸宏 | | 常務執行役員 | 川俣 幸宏 |
| | 取締役 | 佐藤 憲治 | | 常務執行役員 | 佐藤 憲治 |
| | 取締役 (社外) | 寺島 剛紀 | | 執行役員 | 金子 雄一 |
| | 取締役 (社外) | 柿崎 環 | | 執行役員 | 三原 弘之 |
| | 取締役 (社外) | 野原 佐和子 | | 執行役員 | 櫻井 和秀 |
| | 常勤監査役 (社外) | 森脇 朗 | | 執行役員 | 竹谷 英樹 |
| | 常勤監査役 (社外) | 廣川 雄一郎 | | 執行役員 | 野村 正人 |
| | 監査役 (社外) | 末綱 隆 | | 執行役員 | 杉山 勲 |
| | 監査役 (社外) | 須藤 修 | | | |

お知らせ

期末配当金は、同封の「配当金額収証」により、お受け取りください。
なお、銀行口座等への振込みをご指定の方には「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

今回の「株主プレミアムイベント」の開催は見送らせていただきます。